



**Doado pelo
Povo Japonês**

草の根・人間の安全保障無償資金協力

日本国政府、パラナ州マリンガ市の慈善団体に対しマイクロバスを供与

平成26年8月28日、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「高齢者送迎用マイクロバス整備計画」（供与額：総額US\$45,054（約105,065レアル））の供与式がパラナ州マリンガ市のサン・フランシスコ・シャビエル文化社会センターにおいて行われました。供与式には、池田敏雄在クリチバ日本国総領事、ユキオ・オスカル・ヤナガ会長、アフォンソ・シオザキ ACEMA 会長、同センター関係者ら約50名が出席しました。

1960年に貧困層子弟の支援を目的としてキムラ神父により設立されたサン・フランシスコ・シャビエル文化社会センターは1963年に子弟の基礎教育を実施する「サン・フランシスコ・シャビエル学校」を設立し、1978年から30年間、モンセニョール・キムラ保育園を通じて、無料で低所得者家庭の幼児への支援活動を行った。さらに、2010より高齢者支援サービスを無料で提供する「イルマ・クララ高齢者共生サービス」を開始し、現在は約120名の低所得者家庭の高齢者を対象に手工芸、コーラス、運動、ゲームなどの機会を提供しています。しかし、同センターの利用を希望する高齢者が大勢いながら、団体側は送迎に使用できる車両を所有せず、財務状況も厳しいことから、日本政府は同団体に高齢者の送迎に使用されるマイクロバスの購入を支援することとなりました。

供与式でユキオ・オスカル・ヤナガ会長は、同プロジェクトを通じて、日本政府に15人乗りのマイクロバスを供与され、大きな喜びである旨のべ、日本政府及び池田総領事に感謝の意を述べると共に、供与されたマイクロバスは高齢者共生サービスを利用する高齢者のために有効に使用される旨述べました。

続いて、池田敏雄総領事は、日本国政府はサン・フランシスコ・シャビエル文化社会センターが運営するイルマ・クララ高齢者共生サービスに対しマイクロバスを供与することができ、大変喜ばしいと思う旨述べ、日本国政府および日本国民を代表し、同プロジェクトを通じて、センターを利用する高齢者への適切な送迎サービスの提供を期待すると共に、日伯両国の友好の絆を一層強化される事を願う旨述べました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力は日本国民の納める税金を財源とし、基礎教育、職業訓練、保健衛生及び社会福祉の分野において発展途上国の社会開発を支援することを目的としています。在クリチバ日本国総領事館は、今後も草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、パラナ州及びサンタカタリーナ州の社会開発に貢献していく方針です。

【お問い合わせ先】
在クリチバ日本国総領事館
草の根・人間の安全保障無償資金協力
Tel : 041-3322-4919
Email : cgjapc@c1.mofa.go.jp



スピーチをする池田総領事



ヤナガ会長から感謝プレートを受け取る池田総領事



供与されたマイクロバス



池田総領事、ヤナガ会長とセンターを利用する高齢者達